

雨水貯留タンクの試行設置を進めています!

近年激甚化・頻発化する水災害に対応するため、「流域治水」の取り組みを推進しており、その一環として、「雨水貯留タンク」の試行設置を進めています。

令和6年11月11日、15日、美保南小学校と福祉施設「なごみ苑」（鳥取市的場）に1,000ℓの雨水貯留タンクを設置しました。

これまで大路川流域をモデル地区として進めてきましたが、取組の全県展開のため、今年度は中部地区（湯梨浜町の福祉施設）と西部地区（南部町の集会所）に1基ずつ設置します。

来年度以降も試行設置の拡大を検討していく予定です。

雨水貯留タンクの試行設置

雨水貯留タンクは、降雨の河川への流出の最大値を抑制する効果が期待されるものです。

県では、地域のみなさんと協働し、雨水貯留タンクがどのようなものか**実際に見て、取組内容を知ること**で、**雨水貯留タンクの普及を期待**するとともに、雨水貯留タンクをきっかけとした地域の防災意識の向上を目的に試行設置を進めています。

防災学習の実施

雨水貯留タンクの設置に先立ち、美保南小学校の生徒やなごみ苑の職員の方を対象として水害リスクや流域治水の取組、雨水貯留タンクの設置目的等に関する防災学習を実施しました。地区や自治会での防災学習で流域治水の取組について話をすることも可能です。是非お声がけください。



11月11日 美保南小学校

美保南小学校体育館に1,000ℓの雨水貯留タンクを設置しました。当日は、日本海ケーブルネットワークの撮影がありました。

設置完了



設置作業の様子



生活用水への活用

雨水貯留タンクに貯まった水は蛇口から出すことができるため、水やり等の生活用水にも利用できます。



11月15日 福祉施設「なごみ苑」（鳥取市的場）

なごみ苑入口に1,000ℓの雨水貯留タンクを設置しました。

設置完了(正面)



設置完了(裏側)



【予告】協議会、意見交換会の開催

令和6年12月～令和7年1月にかけて第4回大路川流域治水協議会及び各地区との意見交換会を開催し、「行政の取組紹介」「地元住民の取組紹介」を行い、意見交換できたらと考えています。

意見交換結果をもとに住民住民の取組を「大路川流域治水ビジョン」に取り入れる予定です。